

Noritake

『Noritake Design Collection』
Milan Design Week 2025“ALCOVA”で公開
— Faye Toogood、ノリタケの伝統と出会う —



写真提供: Toogood



Design
Collection
Noritake

1904 NAGOYA

ノリタケは、世界最大規模のデザインの祭典「Milan Design Week 2025」の期間中に、ALCOVA(アルコーバ), Villa Borsani(ヴィラ・ボルサーニ)にて、「Noritake Design Collection」として、4つのシグネチャーコレクションを新たに発表します。イギリス人デザイナー Faye Toogood(フェイ・トゥーグッド)をはじめ、世界中のラグジュアリー、イノベーションの世界をリードするトップデザイナーたちとコラボレーションしました。すべてのコレクションに共通するテーマは、日常生活において、食事のシーンだけでなく、長くテーブルに飾り彫刻的な作品としても残るテーブルウェアを創り出すことです。

「Noritake Design Collection」は、堀 雄一郎氏をクリエイティブディレクターとして迎え、世界的なデザイナーとのコラボレーションによって、新しいシグネチャーコレクションを創り上げるという大胆な取り組みです。堀氏はこの新しいチャプターの舵取りを担い、世界のトップデザイナーの自由な創造力と芸術性を、ノリタケの120年以上にわたる歴史が培った技術と融合させます。

今回、「Milan Design Week 2025」で公開する限定作品『Rose』は、ノリタケの伝統的な技法に、Faye Toogood の先進的なデザインを取り入れました。これは、ノリタケのアーカイブからインスピレーションを得ています。また、彼女は今回の展示のアートディレクションも担当します。食器事業部長の片田 智之は、「当社のデザインアーカイブを Faye Toogood が創造的に再解釈することは、当社の技術力とクラフトマンシップ、受け継いできた伝統の価値を改めて証明するものです。」と語っています。



写真提供:Toogood

Faye Toogood にとって、陶芸は深い意味を持っています。土から手で形作られ、日常的に使われるものでありながら、持つ人にとってお守りのような意味が込められている、彫刻的で原始的な工芸と捉えています。彼女の創作活動に欠かせない描画、素材、彫刻、風景の4つのコンセプトと本質的に絡み合っているものは他に見当たりません。そこで磁器を扱うノリタケは、彼女とのコラボレーションを希望し、創立の地である名古屋の本社へと彼女を招待しました。彼女はすぐに自身が大切にするコンセプトと、ノリタケのものづくりへの想い・技術とが深く共鳴する可能性を確信しました。

彼女が強調する“思考と手の強力なつながり”は、ノリタケのデザイン理念と一致します。ノリタケは、デザインの多くがデジタルで行われるようになった現代においても、大切な場面では手で描くことを重要視しています。

「ノリタケと仕事をするのは、私にとってとても自然なことのように感じます。」と Faye Toogood は言います。「ノリタケの膨大なアーカイブを見て、特に 1930 年代の、前衛的で有機的な作品に魅了されました。彼らとの交流で、この豊かな伝統を継承できることに興奮しています。」

Toogood スタジオは、2008 年の設立以来、さまざまな分野を探求してきました。近年の作品においては、色と模様を詩的に取り入れることでその物語が深まっています。この深化は、ノリタケとのコラボレーションにおいても続き、「私は、風景と密接に結びついた自然と植物のアート作品を創造しています。今回の作品では、ノリタケの 100 年以上前の製品に用いられた形状を使い、ノリタケの熟練した技術者と協力し、さまざまな絵付け方法を実験する予定です。」と彼女は語っています。

彼女は、自然そのものの美しさを取り入れた穏やかな自宅のイングリッシュガーデンからインスピレーションを得ています。『Rose』では、さまざまなトーンのグリーンを使用して柔らかく洗練された水彩画風に表現し、ノリタケの環境に配慮した赤絵具を使ったゆるやかな花の抽象画を重ねる予定です。

ノリタケは、Faye Toogood の他にも著名なデザイナーとのコラボレーション商品を発表します。AB Concept(AB コンセプト)の共同創設者である Ed Ng(エド・ウン)による、現代のファッショントレンドと自然の質感からインスピレーションを得た、彫刻的でありながらスタッキングも可能な「バングル」コレクションを紹介します。さらに、Marc Newson(マーク・ニューソン)とは、時代を超えて愛されるデザインを日常使い向けに復活させます。そして、フランク・ロイド・ライト財団とは、ライトが 1920 年代に設計した旧帝国ホテル(ライト館)のアーカイブとノリタケのデザインアーカイブを振り返る中で得たインスピレーションで、新しいコレクションを生み出します。大谷石に手彫りされた孔雀のアートワークからライトのユニークなパターンを分解し再構築した、新しいコレクションを「ピーコック」と名付け発表します。また、「Boutique Design New York 2024」で発表した Yabu Pushelberg(ヤブ・プッシュェルバーグ)とのコラボレーションにより生まれた「HOSHIKAGE」も公開します。

■公開に関する情報

記者向け内覧会: 2025 年4月6日(日) 10:00~14:00

一般公開期間: 2025 年4月7日(月)~4月13日(日) 10:00~19:00

公開場所: ALCOVA(アルコーバ), イタリア、ミラノ Villa Borsani(ヴィラ・ボルサーニ)内

■本リリースに関するお問い合わせ

ノリタケ株式会社 広報室

TEL:052-561-7110 / E-mail:koho@noritake.com